

SHIMANO STePS

SHIMANO Total Electric Power System

ユーザーマニュアル

E6180シリーズ

目次

重要なお知らせ	3
安全のために必ずお守りください.....	3
安全のために	3
使用上の注意.....	4
分冊構成.....	6
SHIMANO STEPSの特長.....	7
アシストモード	7
クイックガイド	8
各部の名称.....	10
仕様.....	11
ご乗車の前に	11
バッテリーの充電方法.....	11
充電器のLED表示	14
バッテリーのLED表示.....	14
バッテリーの取扱いについて.....	15
バッテリーの取付けと取外し.....	16
サイクルコンピューターの取付けと取外し (SC-E6100)	18
操作方法.....	19
電源のON/OFF	19
基本操作	21
ライトのON/OFF	23
基本画面	24
アシストモードの切替え.....	26
走行情報表示の切替え (SC-E6100)	28
走行情報表示の切替え (SC-E7000)	30
変速モードの切替え.....	31

設定メニュー	32
起動 (SC-E6100)	32
起動 (SC-E7000)	33
[Clear] 設定リセット	35
[Clock] 時刻設定.....	36
[Start mode] スタートモード設定	38
[Backlight] バックライト設定 (SC-E6100)	39
[Brightness] バックライト輝度設定 (SC-E6100)	40
[Light] ライトのON/OFF (SC-E7000)	41
[Beep] ビープ音設定	42
[Unit] km / mile 切り替え	43
[Language] 言語設定	44
[Font color] フォントカラー設定	45
[Adjust] 電動変速ユニットの変速調整	45
[Shift timing] オート変速タイミング設定	46
[Shifting advice] 変速アドバイス設定 (SC-E6100)	47
[RD protection reset] RDプロテクションリセット	48
[Display speed] 表示速度の調整.....	49
[Exit] 設定メニュー画面の終了.....	49
設定モード(EW-EN100)	50
RDプロテクションリセット.....	50
アジャスト	50
端末との接続通信	51
ワイヤレス機能について.....	51
トラブルシューティング	52
バッテリーLEDのエラー表示.....	52
サイクルコンピューターのエラーメッセージ.....	52
EW-EN100のエラー表示	55
困ったときは	56

重要なお知らせ

- ユーザーマニュアルに記載されていない自転車への取付け、調整、交換などにつきましては購入された販売店または代理店へご相談ください。なお、自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方向けのディーラーマニュアルはウェブサイト (<https://si.shimano.com>) で公開しています。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社シマノはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

安全のため、必ずこの「ユーザーマニュアル」をよくお読みの上、正しく使用し、いつでも確認できる状態にしておいてください。

安全のために必ずお守りください

警告

- 製品の分解、改造は行わない。動作不良を起こし、突然に転倒して重傷を負うおそれがあります。

安全のために

- 液もれ、発熱、発火、破裂などによるやけどやけがを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険

バッテリーの取扱いについて

- バッテリーに直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない。
液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。
- バッテリーをストーブなどの熱源のそばに放置しない。
破裂、発火の原因になります。
- バッテリーを火の中に投入したり、加熱しない。
破裂、発火の原因になります。
- バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしない。
発熱、破裂、発火の原因になります。
- バッテリーを水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない。
発熱、破裂、発火の原因となります。
- 指定のバッテリーを充電する際は、当社指定の充電器を使用し、指定の充電条件を守る。
発熱、破裂、発火の原因となります。

警告

安全に乗車するために

- 走行中はサイクルコンピューターの表示に目をうばわれない。
転倒事故等のおそれがあります。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認する。
転倒して重傷を負うおそれがあります。
- 電動アシスト自転車の発達特性に十分慣れてから車通りや人通りの多い道路で乗車する。
急発進して事故を起こすおそれがあります。
- 夜間走行時にはライトの点灯確認を行う。

安全に使用するために

- 自転車への配線作業、組み付け作業は、必ずバッテリーおよび充電ケーブルを外した状態で行う。
感電するおそれがあります。
- 自転車でバッテリーを取付けた状態で充電する場合は、自転車を移動させない。
充電器の電源プラグがコンセントに根元まで差し込まれていない状態になるおそれがあり、火災の原因になります。
- 長時間連続して使用している場合、ドライブユニットに触らない。
ドライブユニットの表面が高温になっており、やけどのおそれがあります。
- チェーンを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄する。
メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。
- 錆び落とし等のアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は絶対に使用しない。
これらを使用するとチェーンが破損し、重傷を負うおそれがあります。
- 製品を取付けるときは、必ず取扱説明書等に示している指示を守る。
その際には、シマノ純正部品の使用をお奨めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して重傷を負うおそれがあります。

バッテリーの取扱いについて

- バッテリーが漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受ける。
放置すると液により、目に障害を及ぼす原因になります。
- 充電は湿気の多い場所や、屋外では行わない。
感電のおそれがあります。
- プラグの抜き差しは水に濡れた状態で行わない。
感電のおそれがあります。もしプラグ内が濡れた場合には乾燥させた後に挿してください。
- 所定充電時間を2時間超えてもバッテリーの充電が完了しない場合は、ただちにコンセントを抜いて、販売店へ相談する。
発熱、破裂、発火の原因となります。
バッテリーの所定充電時間については、充電器のユーザーマニュアルを参照してください。
- 外装に目立ったキズや破損のあるバッテリーは使用しない。
破裂・発熱・故障の原因となります。
- バッテリーの動作温度範囲外での使用はしない。
範囲外での使用・保管は、発火・障害・故障の原因となります。
1. 放電時: -10℃ ~ 50℃
2. 充電時: 0℃ ~ 40℃

注意

安全に乗車するために

- 自転車の取扱説明書に従って、安全に走行する。

安全に使用するために

- システムの改造は絶対に行わない。
システムに異常をきたすおそれがあります。
- 充電器およびアダプターが損傷していないか、特にコード、プラグおよび筐体を定期的に確認する。
充電器およびアダプターが損傷している場合、修理するまでは絶対に使用しないでください。
- 製品は、安全責任を持つ人による監督や、製品の使用指導のもとで使用する。
子供を含めて身体的、感覚的、精神的能力が減少している人、または経験や知識のない人には使用させないでください。
- 製品のそばで子供を遊ばせない。

バッテリーの取扱いについて

- バッテリーを直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所に放置しない。
バッテリーを漏液させる原因になるおそれがあります。
- バッテリーの液が皮膚、衣類に付着した場合、ただちにきれいな水で洗い流す。
皮膚に傷害を起こす原因となります。
- バッテリーはペットや乳幼児の手の届かないところに保管する。

使用上の注意

安全に使用するために

- 故障あるいは異常が発生した場合には最寄りの販売店にご相談ください。
- 使用していないコネクタには必ずキャップを付けてください。
- 製品の取付け、調整は販売店にご相談ください。
- 製品は雨天走行に耐える防水設計になっていますが、水中にはつけないでください。
- 高圧洗車は行わないでください。水分の浸入により故障、あるいはサビの原因となります。
- 自転車を倒立させないでください。サイクルコンピューターまたはシフトスイッチが破損するおそれがあります。
- 製品は丁寧に扱い、強い衝撃を与えないでください。
- バッテリーを外した状態でも自転車として機能しますが、電気アシストシステムにライトが接続されている場合は点灯しません。
- 自転車にバッテリーを取付けたまま直接充電する場合は、以下のことに気をつけてください。
 - 充電の際、充電ポートおよび充電器のプラグに水分が付着していないか確認してください。
 - 充電前にバッテリーホルダーにロックがかかっていることを確認してください。
 - 充電中はバッテリーホルダーからバッテリーを取り出さないでください。
 - 充電器を取付けたまま走行しないでください。
 - 充電時以外は、充電ポートのキャップを開けてください。
 - 充電中に自転車が転倒しないように固定してください。

バッテリーの取扱いについて

- 車でアシスト自転車を搬送する際は、車両からバッテリーを取外し、安定した場所に置いてください。
- バッテリーを取付ける際は、バッテリーと接続する部分(コネクタ一部)に水や汚れが溜まっていないことを確認の上、接続してください。
- シマノ純正バッテリーの使用をお奨めします。他メーカーのバッテリーを取付ける場合は、必ずバッテリーの取扱説明書をよく読んでから使用してください。

使用済バッテリーについて

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内のみ有効です。

- リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。日本国内でのバッテリーリサイクルは、最寄りのリサイクル協力店へ持ち込んでください。
詳細は一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ: <https://www.jbrc.com>

PCとの接続通信

PCと自転車(システムまたはコンポーネント)をPC接続機器を用いて接続し、E-TUBE PROJECTを用いて、コンポーネント単品およびシステムのファームウェアアップデート、カスタマイズなどを行うことができます。

- PC接続機器：SM-PCE1/SM-PCE02
- E-TUBE PROJECT：PCアプリケーション
- ファームウェア：各コンポーネント内のソフトウェア

スマートフォンおよびタブレット端末との接続通信

スマートフォン、またはタブレット端末と自転車(システムまたはコンポーネント)をBluetooth LEで接続し、スマートフォン・タブレット端末向けE-TUBE PROJECTを用いて、コンポーネント単品およびシステムのファームウェアアップデート、カスタマイズなどを行うことができます。

- E-TUBE PROJECT：スマートフォン・タブレット端末用アプリケーション
- ファームウェア：各コンポーネント内のソフトウェア

お手入れについて

- バッテリーホルダーのキーに記載されているナンバーは、スペアキーを再購入する際に必要です。大切に保管してください。本ユーザーマニュアルの裏表紙に、キーナンバーを記入するスペースを設けてあります。必要なときに参照できるよう、キーナンバーを記入しておいてください。
- 製品のソフトウェアのアップデートは販売店にご相談ください。最新情報はシマノのホームページに公開されます。詳しくは「端末との接続通信」の項を参照してください。
- 製品の清掃にシンナー等を使用しないでください。表面を破損する恐れがあります。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄してください。またチェーンを中性洗剤で洗浄し注油することも、ギア及びチェーンの寿命を延ばす効果があります。
- バッテリー、樹脂カバーのお手入れの際は、水で濡らした布をかたく絞って拭いてください。
- 取扱い方法およびメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の経年劣化は保証いたしません。

アシストについて

- チェーンの張りすぎなど、正しいセッティングが行われていない場合、適正なアシスト力を得られない場合がありますので、販売店にご相談ください。

ラベルについて

- このユーザーマニュアルに記載されている重要な情報の一部は機器ラベルにも記載されています。

乗車前点検 (毎回行ってください)

乗車前に下記について確認してください。

- ドライフトレインの変速はスムーズか。
 - コンポーネント各部に緩み/損傷がないか。
 - コンポーネントはフレーム/ハンドルバー/ステム等に確実に取付けられているか。
 - 走行中に異音はないか。
 - バッテリーの残量は十分か。
異常を感じた場合は、購入された販売店または代理店にご相談ください。
- 事故の原因になることがありますので、チェーンまたはホイールに巻き込まれる可能性のある衣服の着用は避けてください。

分冊構成

SHIMANO STEPSのユーザーマニュアルは、下記の分冊構成になっています。

- **SHIMANO STEPS ユーザーマニュアル(本書)**

SHIMANO STEPSの基本となるマニュアルです。下記の内容を記載しています。

- SHIMANO STEPSクイックガイド
- サイクルコンピューターの見かたや各種設定方法
- シティ・レッキング・MTBタイプといったフラットハンドルバーを採用したアシスト自転車の操作
- サイクルコンピューターのエラー表示や対処方法、その他のトラブルシューティング

- **SHIMANO STEPS ドロップハンドルバーバイク対応ユーザーマニュアル(別冊)**

ドロップハンドルバーを採用し、デュアルコントロールレバーで操作するアシスト自転車の操作について記載した別冊です。SHIMANO STEPSユーザーマニュアルと併せてお読みください。

- **SHIMANO STEPS 専用バッテリー・関連部品ユーザーマニュアル**

下記の内容を記載しています。

- SHIMANO STEPS専用バッテリーの充電方法や取扱いかた
- SHIMANO STEPS専用バッテリーの自転車への脱着方法
- サテライト電源ボタン、サテライト充電口の使いかた
- 充電時、エラー時のバッテリーLED表示の見かたやエラーの対処方法

これらのユーザーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。また、ユーザーマニュアルはいつでも確認できる状態にしておいてください。

最新のユーザーマニュアルは、ウェブサイト(<https://si.shimano.com>)に掲載しています。

SHIMANO STEPSの特長

- 軽量コンパクト設計
- 静かで滑らかな乗り心地

• 優れたパフォーマンスの電動変速システム

高精度センサーを使用し、コンピューター制御によって精細にコントロールされたモーターによる変速を可能にしています。

• オート変速(内装電動8/5段変速の場合)

向かい風で丘を登ったり、無風の平地を走ったりといった走行状況をセンサーが検出し、コンピューター制御のオート変速によりライディングをさらに快適にします。

• スタートモード(内装電動変速の場合)

交通信号での停止時などにあらかじめ設定したギア段数に自動的にシフトダウンして、軽いギアで発進できるようにする機能です。

* 自転車の停止中に設定されたギア段数よりも低いギア段数に変速した場合には、自動的にシフトアップすることはありません。

■ アシストモード

乗車場面に応じてSHIMANO STEPSのアシストモードを選択できます。

[HIGH]	[NORM](標準)	[ECO]
		
急坂の上り。	緩やかな上りや平地。	平地での長距離ライド。
バッテリー残量が少なくなると、アシスト力を落として走行距離を伸ばすようになっています。		
[OFF]		
• アシスト力が不要の場合 • バッテリー残量に不安がある場合		

クイックガイド

SHIMANO STEPS E6180は、この一覧の製品以外に下記のような製品タイプに対応します。

- サイクルコンピューターSC-E7000
- スイッチユニットSW-E7000

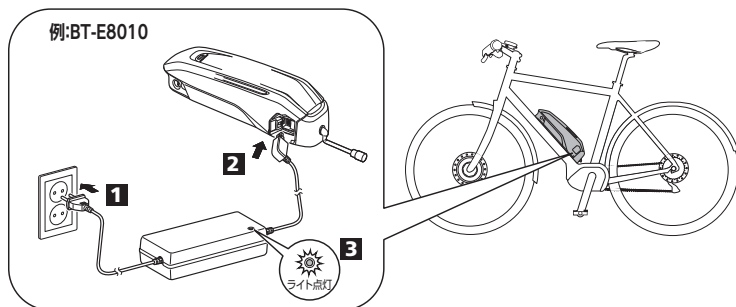
表示と操作方法の詳細については、「操作方法」をご覧ください。

バッテリーについての詳細は、「ご乗車の前に」をご覧ください。

1. バッテリーを充電しましょう。

バッテリーは、自転車に取付けた状態でも充電できます。

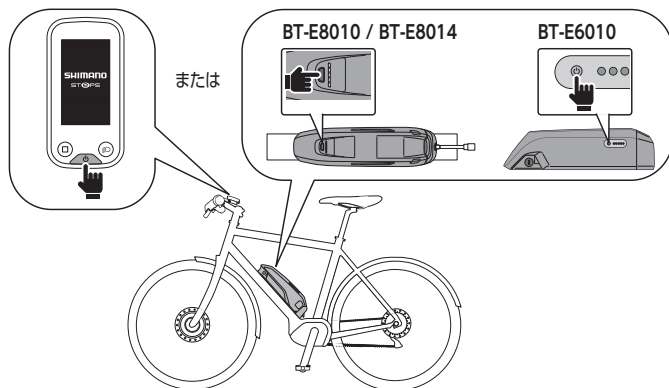
詳細については、「自転車に取付けたバッテリーの充電」を参照してください。



● 点灯	充電 (充電完了後1時間まで)
☼ 点滅	充電エラー

2. 電源をONにしましょう。

電源をOFFにするときは、この手順を繰り返します。



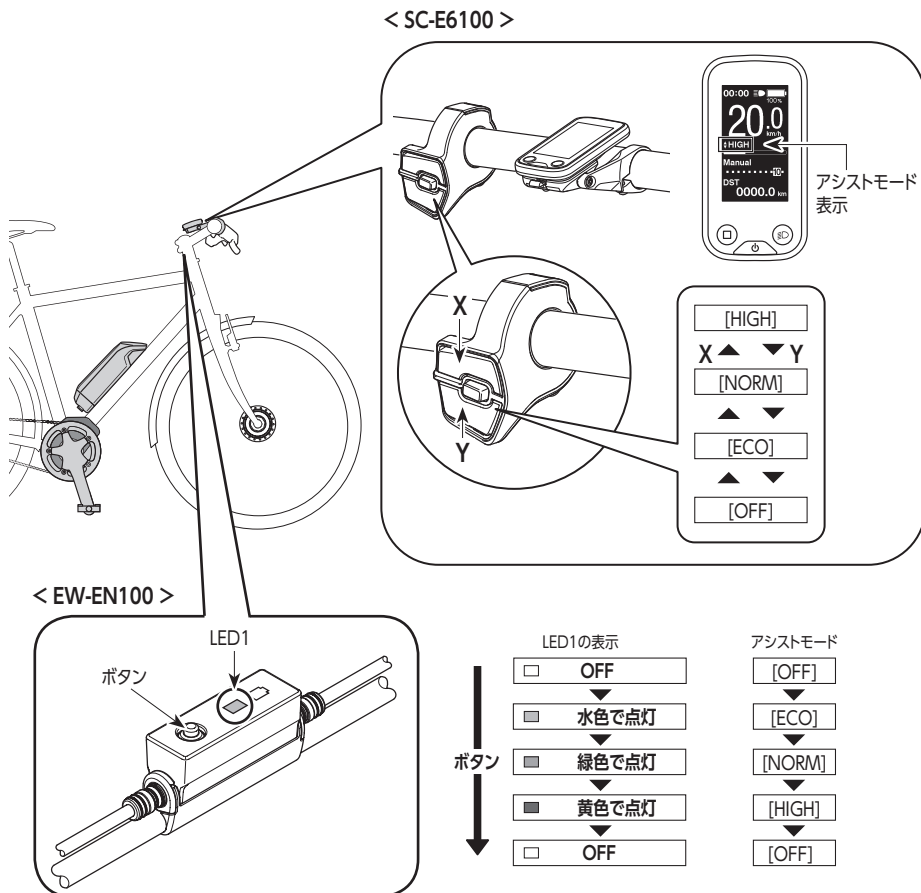
使用上の注意

電源をON/OFFするときは、ペダルに足を載せないようにします。

3. アシストモードを選択しましょう。

自転車にはSC-E6100かEW-EN100のどちらかが装着されています。

* 電源をOFFにすると、アシストモードは[OFF]にリセットされます。

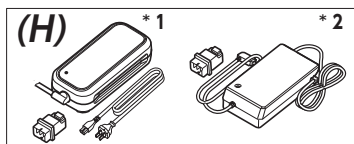
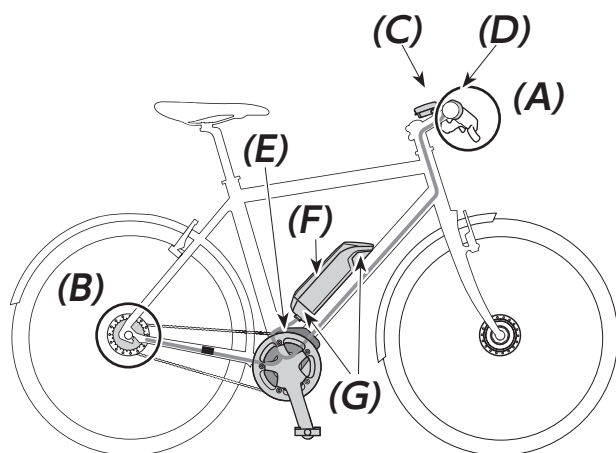


4. 自転車に乗って、走り出しましょう。

ペダルをこぎはじめると、アシストがスタートします。

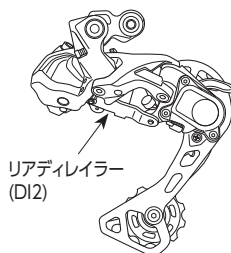
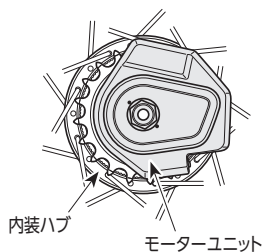
5. 目的地に着いたら、電源をOFFにして駐輪しましょう。

各部の名称



< 電動変速の場合 >

(A)	シフティング スイッチ	• SW-E6010 • SW-E7000
	モーターユニット+内装ハブ リアディレイラー(DI2)	



(C)	サイクルコンピューター/ジャンクション(A)	• SC-E6100 • SC-E7000 • EW-EN100	(F)	バッテリー	• BT-E6010 (日本仕様) • BT-E8010 (日本仕様)*3 • BT-E8014 (日本仕様)
(D)	アシストスイッチ	• SW-E6010 • SW-E7000	(G)	バッテリーホルダー	• BM-E6010 • BM-E8010
(E)	ドライブユニット	• DU-E6180	(H)	充電器 * 1:EC-E6002 + SM-BCC1 * 2:EC-E6000 (日本仕様)	

*3 ドライブユニットのファームウェアのバージョンが3.2.6以下の場合、バッテリーが正常に動作しないことがあります。E-TUBE PROJECTでファームウェアバージョンをアップデートしてください。

仕様

動作温度範囲:放電時	-10 ～ 50℃	バッテリータイプ	リチウムイオンバッテリー
動作温度範囲:充電時	0 ～ 40℃	公称容量	SHIMANO STEPS専用バッテリー・関連部品ユーザーマニュアルをご覧ください。
保管温度	-20 ～ 70℃	定格電圧	36 V DC
保管温度 (バッテリー)	-20 ～ 60℃	ドライブユニット方式	ミッドシップ
充電電圧	100 VAC	モータータイプ	ブラシレスDC
充電時間	SHIMANO STEPS専用バッテリー・関連部品ユーザーマニュアルをご覧ください。	ドライブユニット定格出力	250 W

* アシストが提供する最大速度は自転車メーカー側で設定されていますが、自転車を使用する条件によって異なります。

ご乗車の前に

出荷状態では、バッテリーはすぐに使用できる状態ではありません。

専用充電器で充電することでバッテリーが使用可能になります。

必ず充電してから使用してください。バッテリー上のLEDが点灯すれば使用可能です。

バッテリーの充電方法や取扱いの最新情報は、SHIMANO STEPS専用バッテリー・関連部品ユーザーマニュアルをご覧ください。

■ バッテリーの充電方法

充電時間は、バッテリーの最大容量やバッテリー残量、充電に使用する充電器によって異なります。所定充電時間については、充電器の取扱説明書をご参照ください。



危険

- 充電は当社指定のバッテリーと充電器の組み合わせで行い、当社指定の充電条件を守る。さもないと発熱、破裂、発火の原因となります。



注意

- 自転車にバッテリーを取付けた状態で充電する場合は、充電器のコードに足等を引っかけないように気をつけてください。けがおよび自転車の転倒による製品の破損に繋がるおそれがあります。

使用上の注意

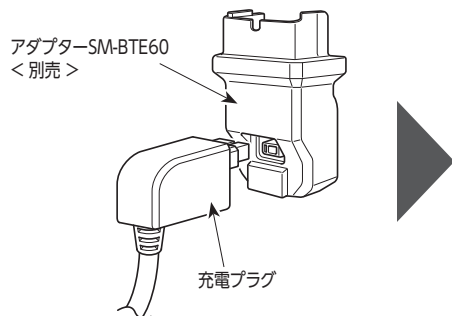
- コンセントから充電器の電源プラグを抜いたり、バッテリーから充電プラグを抜く際には、コード部分を持って抜かないでください。断線の原因になります。
- 新車の状態で長期保存する場合は、使用を開始する直前に充電してください。バッテリーを一度でも充電すると、バッテリーの劣化が始まります。
- E-TUBE PROJECTに接続し、[接続確認]をクリックして、使用中のバッテリーがシマノ指定のバッテリーかどうかを確認してください。
- 屋内の平坦な場所で充電してください。

自転車から取外したバッテリーの充電

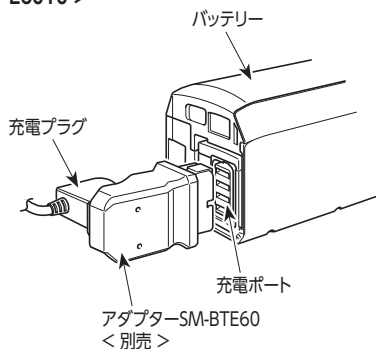
BT-E6010

BT-E6010を自転車から取外して充電するには、アダプター(SM-BTE60)が必要です。

1. アダプターを充電プラグに取付けます。
2. 充電器の電源プラグをコンセントに差し込みます。
3. アダプターをバッテリーの充電ポートに取付けます。



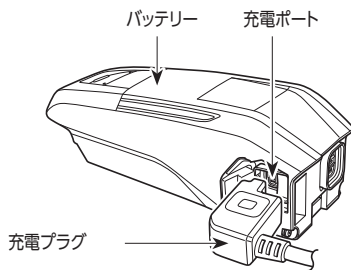
< BT-E6010 >



BT-E8010/BT-E8014

1. 充電器の電源プラグをコンセントに差し込みます。
2. 充電プラグをバッテリーの充電ポートに取付けます。

< BT-E8010/BT-E8014 >

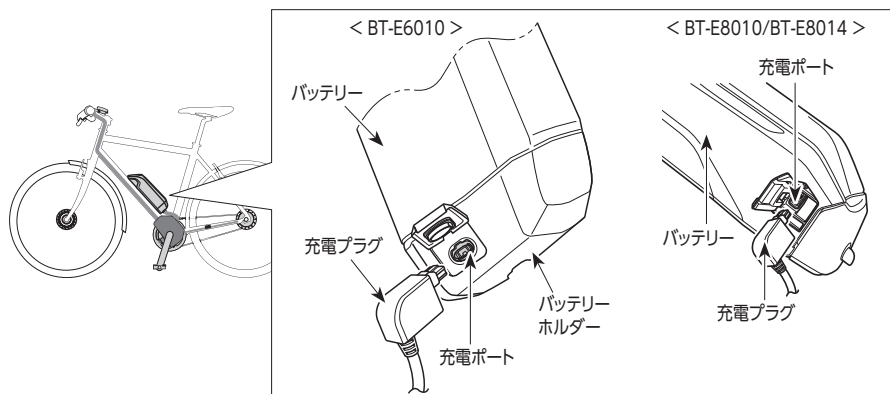


自転車に取付けたバッテリーの充電

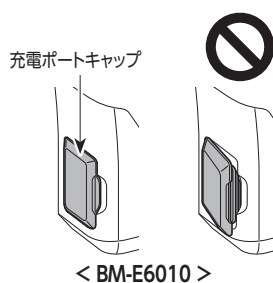
- 充電器を床などの安定した場所に置いて充電します。
- 充電中に自転車が転倒しないように固定してください。

1. 充電器の電源プラグをコンセントに差し込みます。

2. 充電プラグをバッテリーホルダーまたはバッテリーの充電ポートに差し込みます。



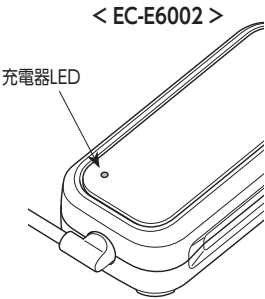
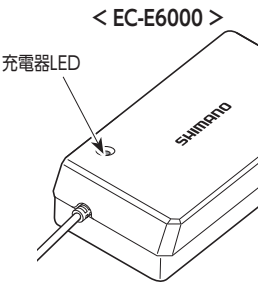
3. 充電後は充電ポートキャップを確実に閉じます。



■ 充電器のLED表示

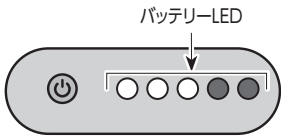
充電を開始すると、充電器のLEDが点灯します。

● 点灯	充電中
◐ 点滅	充電エラー
● 消灯	充電完了



■ バッテリーのLED表示

バッテリーのLEDでバッテリーの充電状態や残量を確認できます。
LEDの形状はモデル番号によって異なります。



充電中の表示

充電中は、バッテリーのLEDが下記のように点灯します。

LED表示*1	充電状況
◐ ● ● ● ●	0 ～ 20%
◐ ◐ ● ● ●	21 ～ 40%
◐ ◐ ◐ ● ●	41 ～ 60%
◐ ◐ ◐ ◐ ●	61 ～ 80%
◐ ◐ ◐ ◐ ◐	81 ～ 99%
◐ ◐ ◐ ◐ ◐	100%

*1 ●:消灯 ◐:点灯 ◐:点滅

バッテリー残量の表示

バッテリーの電源ボタンを使用して電源OFFの状態から電源をONにするときに、現在のバッテリー残量がLED表示で確認できます。

LED表示*1	バッテリー残量
	100 ~ 81%
	80 ~ 61%
	60 ~ 41%
	40 ~ 21%
	20 ~ 1%
	0%(バッテリーが自転車に取付けられていない場合)
	0%(バッテリーが自転車に取付けられている場合) 電源をOFFにしている場合

*1 :消灯 :点灯 :点滅

使用上の注意

バッテリー残量が少なくなると、システム機能は以下の順番で停止します。

- 1: 電動アシスト(アシストモードが自動的に[ECO]に切り替わり、その後アシストが停止します。ドライブユニットに接続したライトを使用していると、[ECO]へ切り替わるタイミングが早くなります。)
- 2: 電動変速
- 3: ライト

■ バッテリーの取扱いについて

バッテリー残量に関係なくいつでも充電可能ですが、下記の場合には満充電をおこなってください。バッテリーの充電には専用充電器を使用してください。

- バッテリーは出荷時には満充電されていません。乗車前に、必ずバッテリーが満充電まで充電してください。

バッテリーを完全に放電しきった際には、速やかに充電してください。放電状態のままにしておくと、バッテリーが劣化するおそれがあります。

- 長期間自転車に乗らない場合は、バッテリー残量を約70%の状態で保管してください。また、半年ごとに充電することで、バッテリーの完全放電を避けてください。

■ バッテリーの取付けと取外し

バッテリーは、バッテリーホルダーに鍵で固定します。

数種類の鍵があるため、下記の説明が該当しない場合があります。

取付け

注意

- 取付け時はバッテリーをしっかりと持ち、誤って落下させないように注意する。
- 走行中にバッテリーが落下することを防ぐため、下記に注意する。
 - バッテリーがバッテリーホルダーにしっかりとロックされていることを確認する。
 - 鍵を挿入したままで乗車しない。

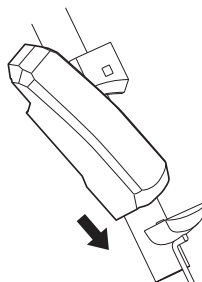
使用上の注意

乗車前に、充電ポートキャップが閉じていることを確認してください。

BT-E6010/BT-E8010/BT-E8014

1. バッテリーを下側から挿入します。

- バッテリー底部にある凹部とバッテリーホルダーの凸部を合わせて差込みます。



2. バッテリーをスライドさせます。

- カチッという音がするまでしっかりと押込みます。

3. 鍵を抜きます。

- 鍵をロック位置まで戻して取外します。



⚠ 注意

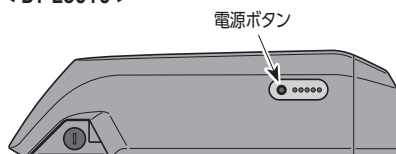
- 取外し時や持ち運びの際はバッテリーをしっかりと持ち、誤って落下させないように注意する。

BT-E6010/BT-E8010/BT-E8014

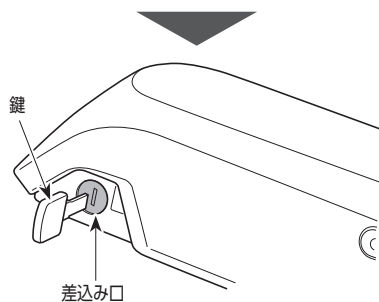
1. 鍵を差込みます。

電源ボタンを押して電源をオフにしてから、バッテリーホルダーの差込み口に鍵を挿入します。

< BT-E6010 >

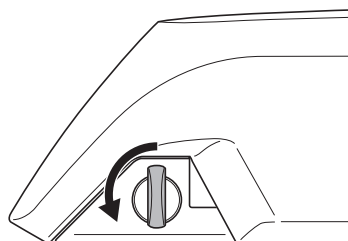


< BT-E8010/BT-E8014 >

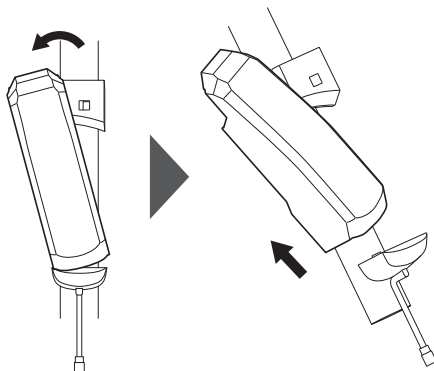


2. バッテリーのロックを解除します。

- 当たりを感じるまで鍵を回します。



3. バッテリーをスライドさせ、慎重に取外します。



■ サイクルコンピューター取付けと取外し (SC-E6100)

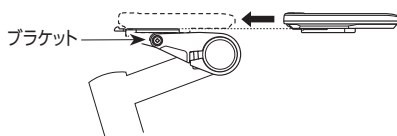
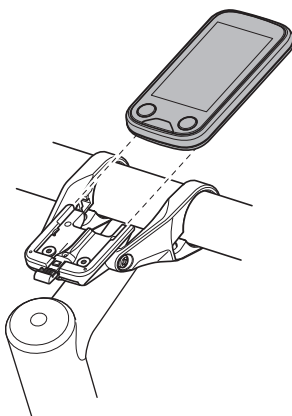
サイクルコンピューターは、容易に取外しできないように自転車に固定しておくこともできます。詳しくは販売店にお問い合わせください。

取付け

1. サイクルコンピューターをブラケットにスライドさせて取付けます。
2. サイクルコンピューターが所定の位置にきてパチッと音がするまで確実に差し込んでください。

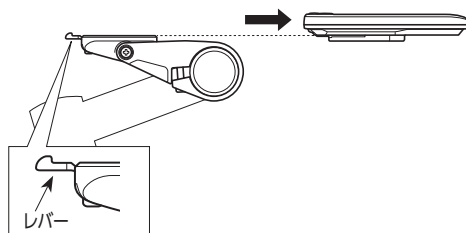
使用上の注意

サイクルコンピューターを正しく取付けていない場合、アシスト機能が正常に作動しません。



取外し

1. サイクルコンピューターをブラケットから取外します。
 - ブラケットのレバーを下に押しながらサイクルコンピューターを前にスライドさせて取外します。



操作方法

■ 電源のON/OFF

- 充電中は電源をONにできません。
- 電源のONの後、自転車を10分以上放置すると、自動的に電源がOFFになります（オートパワー-OFF機能）。
- SC-E7000/EW-EN100を使用している場合、電源はバッテリーから操作します。

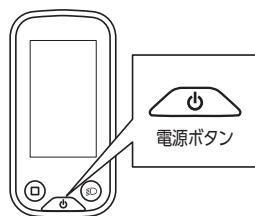
使用上の注意

電源を操作する時には、ペダルに足を置かないでください。システムエラーが発生することがあります。

サイクルコンピューター(SC-E6100)による電源のON/OFF

- サイクルコンピューターの内蔵バッテリーが十分に充電されていないと、電源の操作ができません。
- サイクルコンピューターの内蔵バッテリーは、サイクルコンピューターのディスプレイが点灯している状態でのみ充電されます。

1. 電源ボタンを押します。



バッテリーからの電源操作

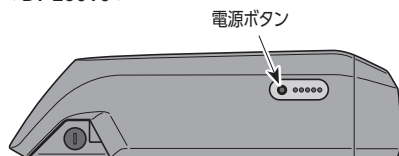
バッテリーがBT-E8010の場合、バッテリーの電源ボタンを約6秒長押しすることで非常時の強制電源OFFが可能です。

1. バッテリーの電源ボタンを押します。
 - LEDが点灯し、バッテリーの残量を示します。

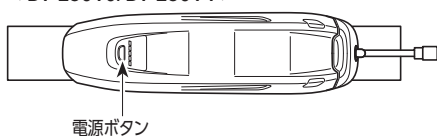
使用上の注意

電源をONにする前に、バッテリーがバッテリーホルダーにしっかりと取付けられていることを確認してください。

< BT-E6010 >



< BT-E8010/BT-E8014 >



電源ON 時の画面表示

SC-E6100

電源をONにすると、下記のような画面が表示されたあと、基本画面に切り替わります。

通常起動時



バッテリー残量が少ない場合



* サイクルコンピューターのバッテリーの残量が少なくなっています。

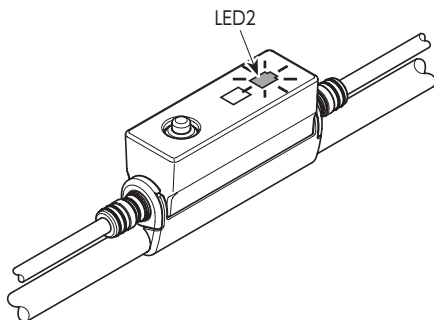
SC-E7000

電源をONにすると、右記のような画面が表示されたあと、基本画面に切り替わります。



EW-EN100

LED2が点灯します。



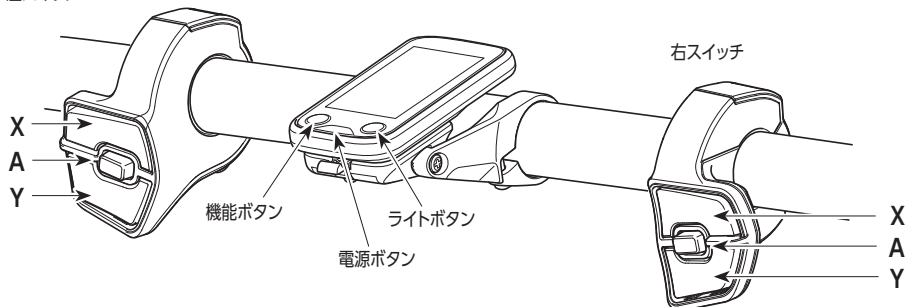
■ 基本操作

各スイッチへの機能割当てを変更することができます。詳細については、販売店にご相談ください。

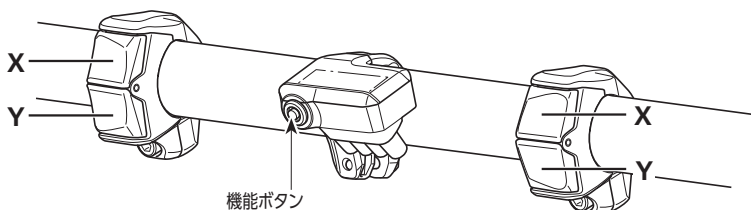
サイクルコンピューターとスイッチユニット

SC-E6100/SW-E6010の場合

左スイッチ



SC-E7000/SW-E7000の場合



左スイッチ (デフォルト:アシスト用)		右スイッチ (デフォルト:電動変速用)	
アシスト-X	乗車時: アシスト力をアップ 設定時: カーソルの移動や設定の変更	シフト-X	乗車時: シフトアップ
アシスト-Y	乗車時: アシスト力をダウン 設定時: カーソルの移動や設定の変更	シフト-Y	乗車時: シフトダウン
アシスト-A	乗車時: サイクルコンピューターの走行情報表示の切替え 設定時: サイクルコンピューターの画面切替えや変更した設定の確定	シフト-A	乗車時: オート変速とマニュアル変速の切替え (内装電動8/5段変速の場合)

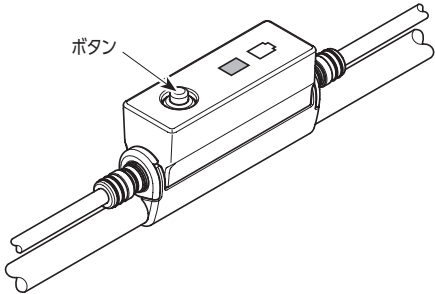
サイクルコンピューター (SC-E6100)			
機能ボタン	乗車時:	ライトボタン	ライトのON/OFF
	設定時:	電源ボタン	電源のON/OFF
			サイクルコンピューターの走行情報表示の切替え サイクルコンピューターの画面切替え や変更した設定の確定

サイクルコンピューター (SC-E7000)	
機能ボタン	乗車時: サイクルコンピューターの走行情報表示の切替え
	設定時: サイクルコンピューターの画面切替えや変更した設定の確定

使用上の注意
リアディレイラー仕様の場合、変速操作は必ずクランクを回しながら行ってください。

ジャンクション(A) (EW-EN100)

- EW-EN100はサイクルコンピューターの代わりに使用できます。
- ハンドルバー付近のブレーキアウターケーシングまたはブレーキホースに取付けられています。
- EW-EN100のボタンは走行中の操作を推奨しません。乗車前にお好みのアシストモードを選択してください。
 - ボタンに割当てられたその他の機能については、「設定モード(EW-EN100)」をご参照ください。



ジャンクション(A)	
ボタン	押す:押すたびにアシストモードを変更。 約2秒長押し:ライトのON/OFF

■ ライトのON/OFF

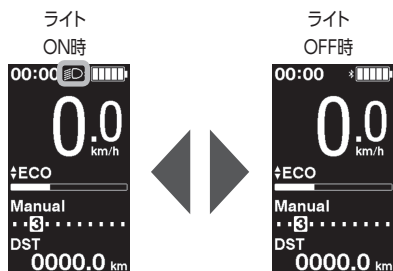
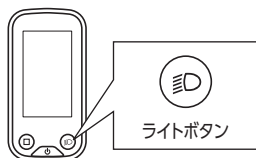
- ライトをドライブユニットに接続している場合、サイクルコンピューターまたはジャンクション(A)からライトを操作できます。
- ライトのOFFは、電源のOFFと連動します。電源がOFFのときにライトはONになりません。
- SC-E7000を使用している場合、ライトは設定メニューから操作します。詳細については、「[Light] ライトのON/OFF (SC-E7000)」を参照してください。

SC-E6100

1. ライトボタンを押します。

- ライトがONになります。
- ライトをOFFにするには、ライトボタンを再度押します。

* ドライブユニットにライトを接続していない場合、サイクルコンピューターの設定メニューで[Backlight]を[MANUAL]に設定すると、サイクルコンピューターのライトボタンでバックライトの点灯/消灯のみを操作できます。

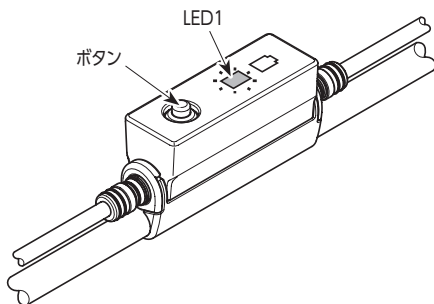


EW-EN100

乗車中にボタンを押してライトをOFFにすることはできません。

1. ライトが点灯/消灯するまで、ボタンを約2秒長押しします。

LED1が緑色で点滅します。



■ 基本画面

自転車の状態や走行情報を表示します。

ギア段数は電動変速使用時に限り表示されます。

(A) バッテリー残量表示

(B) メンテナンスアラート

メンテナンス時期を通知します。このアイコンが表示されたら、購入された販売店にご相談ください。

(C) ギア段数表示

< SC-E6100 >

10 現在のギア段数

10 スタートモードのギア段数 *1

変速アドバイス *2

走行時の自転車の状態から、変速をお勧めするタイミングをお知らせします。

(D) 走行情報表示

(E) 変速モード *1*3

現在の変速モードが[Auto]か[Manual]かを表示します。

(F) アシストゲージ

アシストのレベルを表示します。

(G) 現在のアシストモード

(H) 現在速度*4

(I) 現在時刻

(J) ライトアイコン

ドライブユニットに接続したライトが点灯している場合に表
示されます。

(K) Bluetooth® LEアイコン

Bluetooth LE接続時に表示されます。

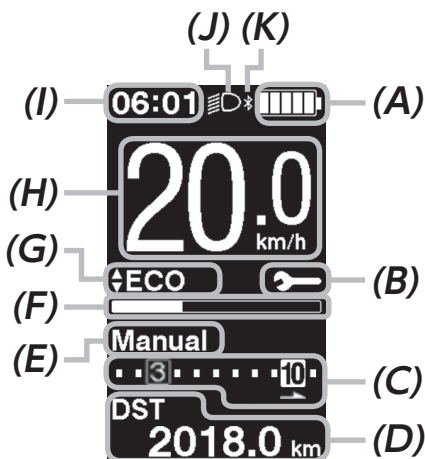
* 1 内装電動変速の場合のみ

* 2 電動変速で変速モードが[Manual]の場合のみ

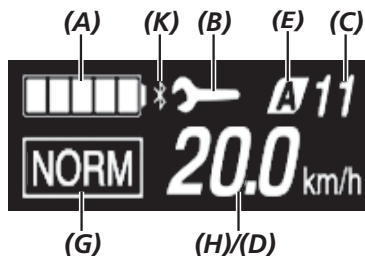
* 3 リアディレイラー仕様の場合は常に[Manual]の表示にな
ります。

* 4 SC-E7000では、このエリアを走行情報表示に切替えるこ
とができます。

< SC-E6100 基本画面 >



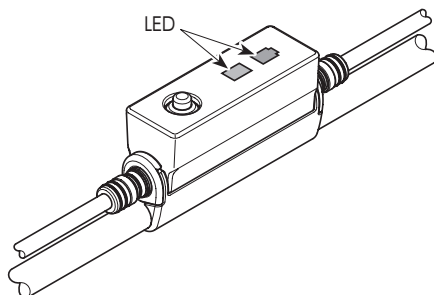
< SC-E7000 基本画面 >



LEDは下記の状態を表示します。

- 現在のバッテリー残量
- 現在のアシストモード

詳細は、「バッテリー残量表示」と「アシストモードの切替え」を参照してください。



バッテリー残量表示

走行中にバッテリー残量を確認できます。

SC-E6100/SC-E7000

バッテリー残量はアイコンで表示されます。

表示	バッテリー残量
	100 ～ 81%
	80 ～ 61%
	60 ～ 41%
	40 ～ 21%
	20 ～ 1%
	0%

* SC-E7000の場合、バッテリー残量がわずかになると、バッテリー残量表示が点滅します。

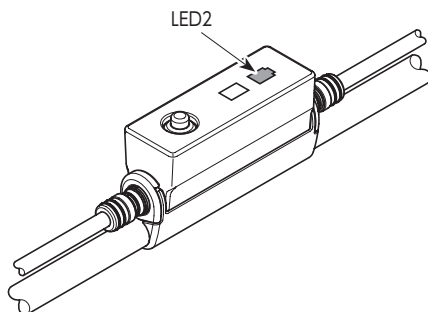


サイクルコンピューターでの残量表示は、アシストができなくなるバッテリー残量を0として表示します。SHIMANO STEPSシステムでは、残量不足でアシストが停止しても、しばらくライトを点灯させることができます。このため、バッテリー側で確認できる残量と上記の残量表示が異なる場合があります。

EW-EN100

電源がONになっている間、LED2がバッテリー残量を表示します。

LED2の表示	バッテリー残量
 (緑色で点灯)	100 ~ 21%
 (赤色で点灯)	20%以下
 (赤色で点滅)	残りわずか

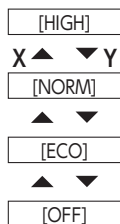
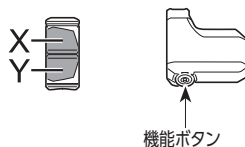
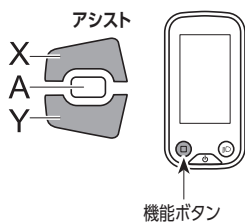


■ アシストモードの切替え

スイッチユニットによるアシストモードの切替え

1. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押します。

- アシストスイッチを接続していない場合、機能ボタンを長押ししてアシストモードを切り替えることができます。



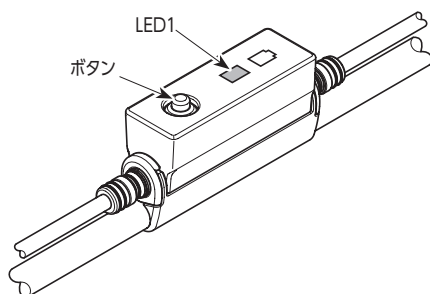
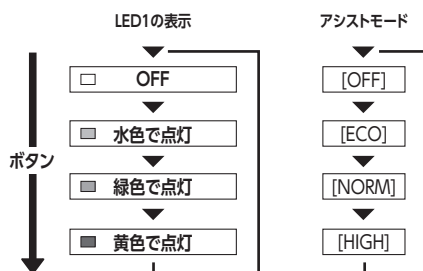
< SC-E6100 >



< SC-E7000 >



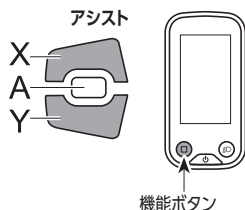
1. ボタンを押します。
アシストモードはボタンを押すたびに切り替わります。
アシストモードを切り替えるとLED1の表示が切り替わります。



■ 走行情報表示の切替え (SC-E6100)

アシスト-Aまたはサイクルコンピューターの機能ボタンを押すたびに、表示される走行情報の種類が切替わります。

- SW-E6010を使用している場合、アシスト-Aでも操作できます。



表示項目	意味
[DST]	走行距離
[ODO]	積算距離
[RANGE]	走行可能距離 ^{*1}
[RANGE]	アシストモード別走行可能距離 ^{*1 *2 *3}
[TIME]	走行時間 ^{*3}
[AVG]	平均速度 ^{*3}
[MAX]	最高速度 ^{*3}
[CADENCE]	クランク回転数 ^{*3 *4}

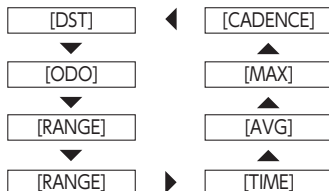
*1 走行可能距離は参考値です。

*2 下図の表示になります。この表示のときはギア段数を表示できません。

RANGE	
HIGH	61 km
NORM	77 km
ECO	97 km

*3 オプション項目です。E-TUBE PROJECTを接続すると、表示/非表示を設定できます。詳しくは「端末との接続通信」の項を参照してください。

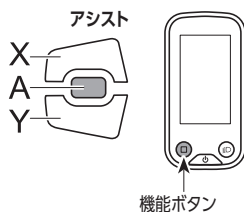
*4 電動変速をご使用で、ペダリングがアシストされているときのみ表示されません。



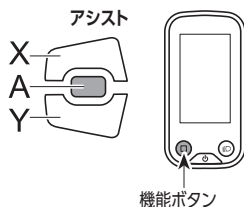
走行距離のリセット (SC-E6100)

基本画面に表示される走行距離をリセットします。走行距離をリセットすると、[TIME] (走行時間)、[AVG] (平均速度)、[MAX] (最高速度) も同時にリセットされます。

1. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、走行情報表示を[DST]に切替えます。



2. [DST] 表示の値が点滅するまで、アシスト-Aまたは機能ボタンを長押しします。

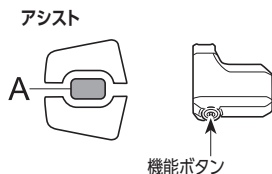


3. 再びアシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
 - 走行情報がクリアされます。
 - [DST]の数値が点滅し始めてから5秒放置すると、点滅が止まり、基本画面に戻ります。

■ 走行情報表示の切替え (SC-E7000)

機能ボタンを押す毎に走行情報の表示が[DST]から順に切替わります。走行情報表示の切替え後、60秒操作がないと、自動的に速度表示に戻ります。

- SW-E6010を使用している場合、アシスト-Aでも操作できます。



< 現在速度表示 >

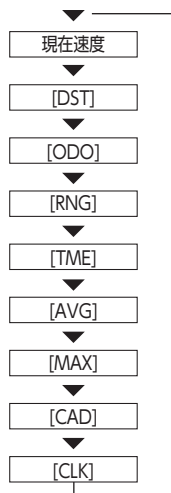


表示項目	意味
-	現在速度
[DST]	走行距離
[ODO]	積算距離
[RNG]	走行可能距離 *1
[TME]	走行時間 *2
[AVG]	平均速度 *2
[MAX]	最高速度 *2
[CAD]	クランク回転数 *2 *3
[CLK]	現在時刻 *2

*1 [RNG]の表示中は、バッテリー充電レベルは表示されません。また、走行可能距離は参考値です。

*2 オプション項目です。E-TUBE PROJECTを接続すると、表示/非表示を設定できます。

*3 電動変速をご使用で、ペダリングがアシストされているときにのみ表示されます。



走行距離のリセット (SC-E7000)

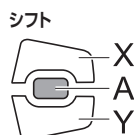
基本画面に表示される走行距離をリセットします。走行距離をリセットすると、[TME] (走行時間)、[AVG] (平均速度)、[MAX] (最高速度) も同時にリセットされます。

1. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、走行情報表示を[DST]に切替えます。
2. [DST] 表示の値が点滅するまで、アシスト-Aまたは機能ボタンを長押しします。
3. 再びアシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
 - 走行情報がリセットされます。
 - [DST]の数値が点滅し始めてから5秒間放置すると、点滅が止まり、基本画面に戻ります。

■ 変速モードの切替え

内装電動8/5段変速の場合、オート変速とマニュアル変速の切替えができます。

1. 基本画面でシフト-Aを押します。



[Auto]	ペダルにかかる負荷によって自動的に変速します。
[Manual]	シフティングスイッチを操作して変速します。

< SC-E6100 >
Automatic



Manual



< SC-E7000 >

Automatic



Manual



設定メニュー

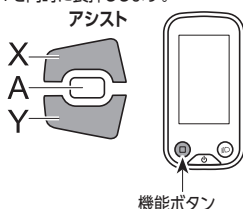
■ 起動 (SC-E6100)

アシストスイッチを接続していない場合、設定メニューを表示することはできません。

1. 自転車を停車させます。

2. 下記の操作で設定メニューに切り替えます。

- 画面表示が設定メニューに切り替わるまで、[DST]以外の状態でアシスト-Aまたは機能ボタンを長押しします。
- 画面表示が設定メニューに切り替わるまで、アシスト-Xとアシスト-Yを同時に長押しします。



< 基本画面 >

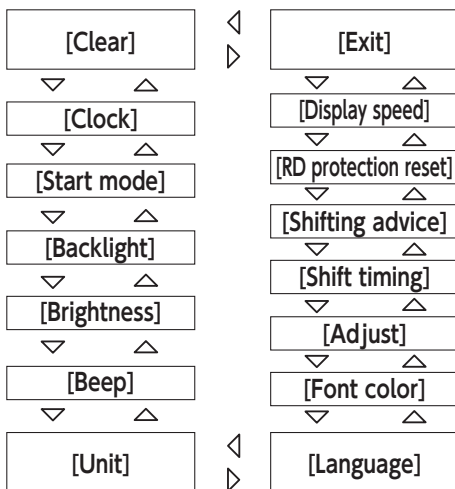
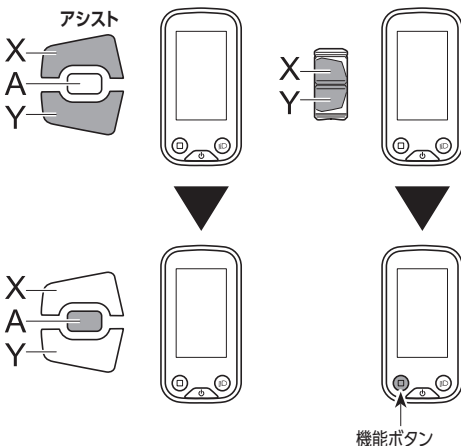


< 設定メニュー画面 >



3. メニュー項目を選択します。

- (1) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押してカーソルを移動させます。
- (2) アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
ディスプレイは選択したメニュー項目の画面に切り替わります。



設定可能な項目	内容
[Clear]	走行距離や表示設定をリセットします。
[Clock]	現在時刻を設定します。
[Start mode] ^{*1}	停止状態から走り出す際に設定したギア段数に自動的に変速します。
[Backlight]	ディスプレイのバックライトを設定します。
[Brightness]	ディスプレイの明るさを設定します。
[Beep]	操作音をON/OFFします。
[Unit]	km表示とmile表示を切替えます。
[Language]	表示言語を設定します。
X [Font color]	表示文字色を黒か白に切替えます。
[Adjust] ^{*2}	電動変速機の変速調整をします。
[Shift timing] ^{*2}	オート変速時の変速タイミングを調整します。
[Shifting advice] ^{*2}	マニュアル変速時、変速推奨タイミングをサイクルコンピューターの表示で知らせるかどうかを設定します。
[RD protection reset] ^{*3}	RDプロテクションリセットを実行します。
[Display speed]	ディスプレイの速度表示の誤差を調整します。
[Exit]	基本画面に戻ります。

* 1 内装電動変速の場合のみ

* 2 電動変速の場合のみ

* 3 電動変速のリアディレイラー仕様のみ

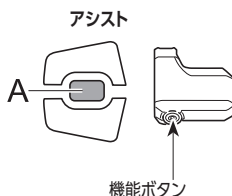
■ 起動 (SC-E7000)

アシストスイッチを接続していない場合、設定メニューを表示することはできません。

1. 自転車を停車させます。

2. 下記の操作で設定メニューに切り替えます。

- 画面表示が設定メニューに切り替わるまで、[DST]以外の状態でアシスト-Aまたは機能ボタンを長押しします。
- 画面表示が設定メニューに切り替わるまで、アシスト-Xとアシスト-Yを同時に長押しします。



< 基本画面 >

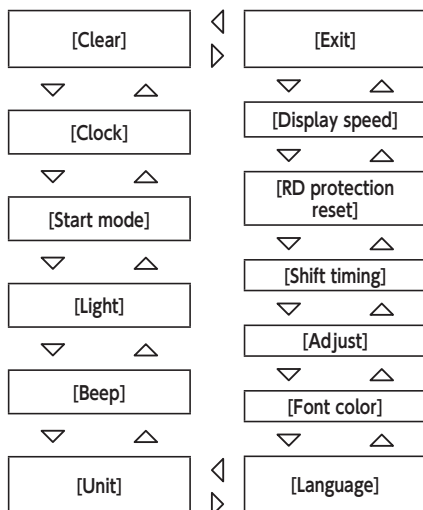
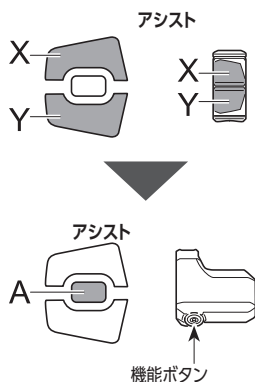


< 設定メニュー画面 >



3. メニュー項目を選択します。

- (1) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押してカーソルを移動させます。
- (2) アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
ディスプレイは選択したメニュー項目の画面に切り替わります。



設定可能な項目	内容
[Clear]	走行距離や表示設定をリセットします。
[Clock]	現在時刻を設定します。
[Start mode] ^{*1}	停止状態から走り出す際に設定したギア段数に自動的に変速します。
[Light]	ライトをON/OFFします。
[Beep]	操作音をON/OFFします。
[Unit]	km表示とmile表示を切替えます。
[Language]	表示言語を設定します。
[Font color]	表示文字色を黒か白に切替えます。
[Adjust] ^{*2}	電動変速機の変速調整をします。
[Shift timing] ^{*2}	オート変速時の変速タイミングを調整します。
[RD protection reset] ^{*3}	RDプロテクションリセットを実行します。
[Display speed]	ディスプレイの速度表示の誤差を調整します。
[Exit]	基本画面に戻ります。

* 1 内装電動変速の場合のみ

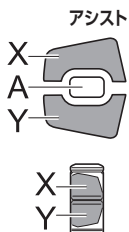
* 2 電動変速の場合のみ

* 3 電動変速のリアディレイラー仕様のみ

■ [Clear] 設定リセット

走行距離や設定値をリセットします。

1. [Clear]メニューを表示します。
 (1) 設定メニューを表示します。
 (2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[Clear]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して、リセットしたい項目を選択します。



選択可能な項目	説明
[Exit]	設定メニューに戻ります。
[DST]	走行距離をリセットします。 走行距離をリセットすると、[TIME] (走行時間)、[AVG] (平均速度)、[MAX] (最大速度) も同時にリセットされます。
[Default]*	表示設定をリセットします。

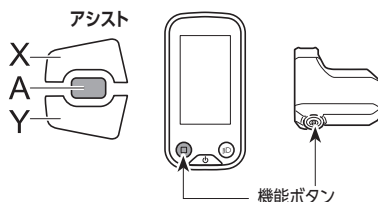
* SC-E6100のみ

表示設定をリセットすると、下記の初期設定になります。

- [Backlight]: [ON]
- [Unit]: [km]
- [Brightness]: [3]
- [Beep]: [ON]
- [Language]: [English]
- [Font color]: [White]

3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して選択した項目をリセットします。

* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



< SC-E6100 >



< SC-E7000 >



■ [Clock] 時刻設定

現在時刻を設定します。まず「時」を、次に「分」を設定します。

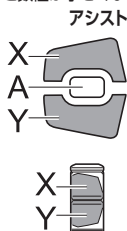
手順2や4で数値を設定するときは、アシスト-Xやアシスト-Yを長押しすることで素早く数値を変更できます。

1. [Clock]メニューを表示します。

- (1) 設定メニューを表示します。
- (2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[Clock]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。

2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して「時」の数値を変更します。

- アシスト-Xを押すと数値が大きくなります。
- アシスト-Yを押すと数値が小さくなります。



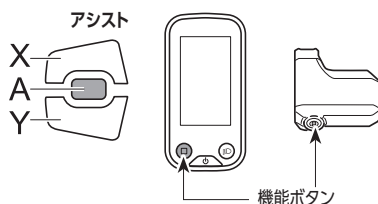
< SC-E6100 >



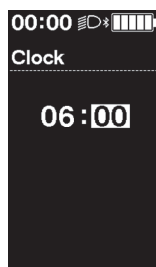
< SC-E7000 >



3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。カーソルが「分」の数値に移動します。



< SC-E6100 >



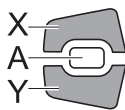
< SC-E7000 >



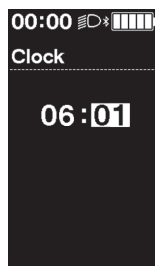
4. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して「分」の数値を変更します。

- アシスト-Xを押すと数値が大きくなります。
- アシスト-Yを押すと数値が小さくなります。

アシスト



< SC-E6100 >



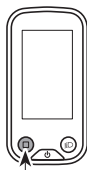
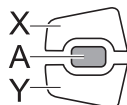
< SC-E7000 >



5. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、設定を確認させます。

* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。

アシスト



機能ボタン

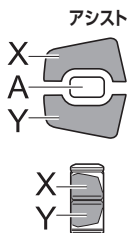
■ [Start mode] スタートモード設定

停止状態から走り出す時に、ここで設定したギア段数に自動的に変速します。

1. [Start mode]メニューを表示します。

- (1) 設定メニューを表示します。
- (2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[Start mode]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。

2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して設定したい項目を選択します。

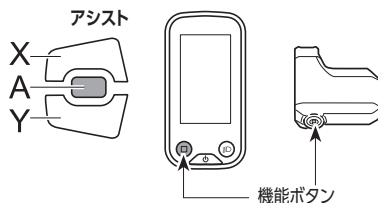


選択可能な項目	説明
[OFF]	スタートモードを設定しません。
[1 - 11]	1 ~ 11速から、ギア段数を選択します。*

* 自転車の変速機によって選択できるギア段数が異なります。

3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。

* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



< SC-E6100 >



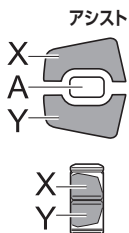
< SC-E7000 >



■ [Backlight] バックライト設定 (SC-E6100)

ディスプレイのバックライトを設定します。

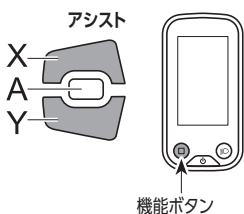
1. [Backlight]メニューを表示します。
 (1) 設定メニューを表示します。
 (2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[Backlight]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して設定したい項目を選択します。



選択可能な項目	説明
[ON]	バックライトを常時ONします。
[OFF]	バックライトを常時OFFします。
[MANUAL]	ドライブレユニットに接続したライトのON/OFFと連動してバックライトをON/OFFします。ライトが接続されていない場合は、サイクルコンピューターのライトボタンの操作でバックライトをON/OFFできます。

3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。

* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



■ [Brightness] バックライト輝度設定 (SC-E6100)

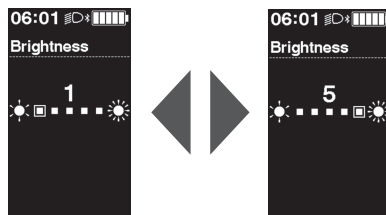
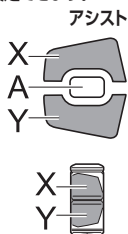
ディスプレイの明るさを設定します。

1. [Brightness]メニューを表示します。

- (1) 設定メニューを表示します。
- (2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[Brightness]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。

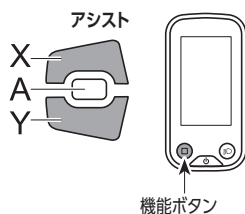
2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押してディスプレイの明るさを調整します。

明るさは5段階で設定できます。



3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。

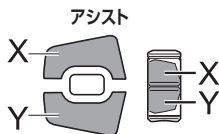
* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



■ [Light] ライトのON/OFF (SC-E7000)

ドライブユニットに接続したライトの点灯/消灯を設定します。

1. [Light]メニューを表示します。
 - (1) 設定メニューを表示します。
 - (2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[Light]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して設定したい項目を選択します。

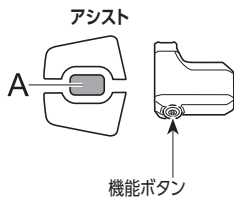


選択可能な項目	説明
[ON]	ライトを常時点灯します。
[OFF]	ライトを常時消灯します。



3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。

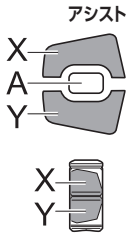
* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



■ [Beep] ビープ音設定

操作音をON/OFFします。[OFF]に設定している場合でも、誤操作やシステム異常などの場合にはビープ音が鳴ります。

1. [Beep]メニューを表示します。
- (1) 設定メニューを表示します。
 - (2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[BEEP]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して設定したい項目を選択します。



選択可能な項目	説明
[ON]	ビープ音を鳴らす
[OFF]	ビープ音を鳴らさない

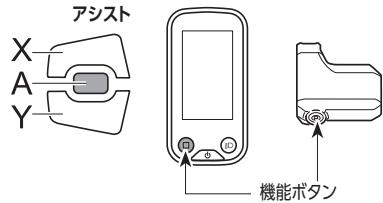
< SC-E6100 >



< SC-E7000 >



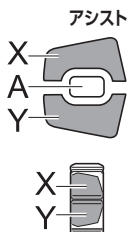
3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。
- * ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



■ [Unit] km / mile 切り替え

km表示とmile表示を切替えます。

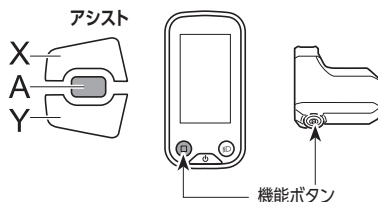
1. [Unit]メニューを表示します。
 - (1) 設定メニューを表示します。
 - (2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[Unit]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して設定したい項目を選択します。



選択可能な項目	説明
[km]	km表示
[mile]	mile表示

3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。

* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



< SC-E6100 >



< SC-E7000 >



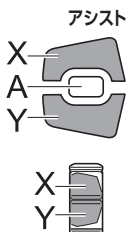
■ [Language] 言語設定

表示言語を設定します。

1. [Language]メニューを表示します。

- (1) 設定メニューを表示します。
- (2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[Language]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。

2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して設定したい項目を選択します。



選択可能な項目
[English]
[Français]
[Deutsch]
[Nederlands]
[Italiano]
[Español]

< SC-E6100 >

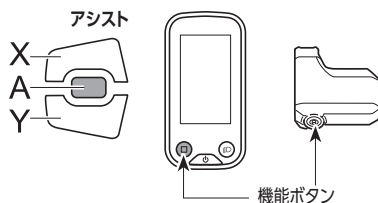


< SC-E7000 >



3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。

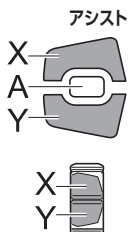
* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



■ [Font color] フォントカラー設定

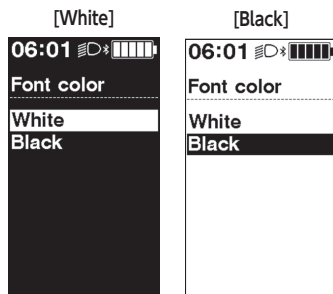
表示文字色を黒か白に切替えます。

1. [Font color]メニューを表示します。
 - (1) 設定メニューを表示します。
 - (2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[Font color]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して設定したい項目を選択します。

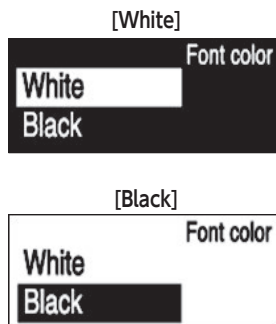


選択可能な項目
[White]
[Black]

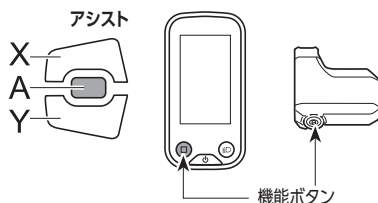
< SC-E6100 >



< SC-E7000 >



3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。
* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



■ [Adjust] 電動変速ユニットの変速調整

リアの変速ユニットの調整が必要な場合は、販売店にご相談ください。

■ [Shift timing] オート変速タイミング設定

オート変速時の変速タイミングを調整します。

変速アドバイスの表示タイミングの設定を兼ねています。

1. [Shift timing]メニューを表示します。

(1) 設定メニューを表示します。

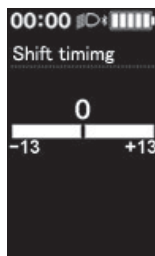
(2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[Shift timing]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。

2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して数値を調整します。

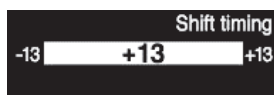
- アシスト-Xを押して値を大きくすると、変速タイミングはペダリングを楽にする方向に調整されます。
- アシスト-Yを押して値を小さくすると、変速タイミングはペダリングを重くする方向に調整されます。



< SC-E6100 >

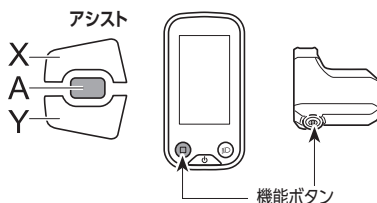


< SC-E7000 >



3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。

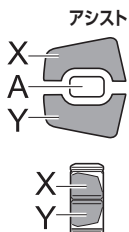
* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



■ [Shifting advice] 変速アドバイス設定 (SC-E6100)

手動変速時、変速推奨タイミングをサイクルコンピューターの表示でお知らせするかどうかを設定します。

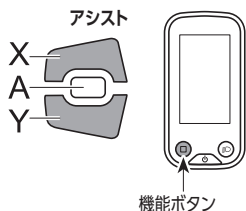
1. [Shifting advice]メニューを表示します。
 - (1) 設定メニューを表示します。
 - (2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[Shifting advice]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して設定したい項目を選択します。



選択可能な項目	説明
[ON]	変速アドバイス機能を有効にし、手動変速時に変速推奨タイミングをアイコン表示でお知らせします。
[OFF]	変速アドバイス機能を無効にします。

3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。

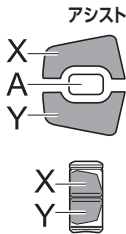
* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



■ [RD protection reset] RDプロテクションリセット

転倒などからシステムを保護するため、リアディレイラーに強い衝撃を受けると、RDプロテクション機能が働きます。モーターとリンク部の接続が一時的に解除され、リアディレイラーが正しく動作しなくなります。
RDプロテクションリセットを実行すると、モーターとリンク部の接続が回復し、リアディレイラーがRDプロテクションから復旧します。

1. [RD protection reset]メニューを表示します。
- (1) 設定メニューを表示します。
 - (2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[RD protection reset]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[OK]を選択します。



選択可能な項目	説明
[OK]	RDプロテクションリセットを実行します。
[Cancel]	設定メニューに戻ります。

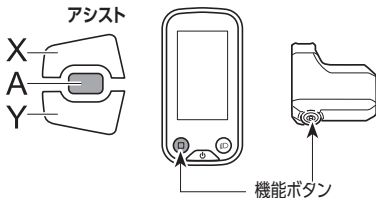
< SC-E6100 >



< SC-E7000 >



3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。



< SC-E6100 >



< SC-E7000 >

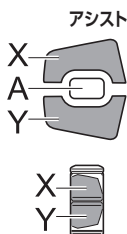


4. クランクアームを回します。
モーターとリンクの接続が復旧します。

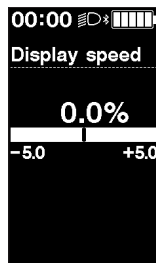
■ [Display speed] 表示速度の調整

サイクルコンピューターに表示される速度と、お使いの他の機器での速度表示に誤差がある場合に表示速度を調整します。
サイクルコンピューター側の表示を調整した場合、表示の速度より実際の速度が速い場合があります。制限速度がある場合はご注意ください。

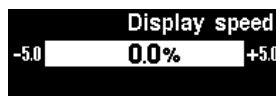
1. [Display speed]メニューを表示します。
 - (1) 設定メニューを表示します。
 - (2) アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[Display speed]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して数値を調整します。
 - アシスト-Xを押して数値を大きくすると、速度の表示数値が大きくなります。
 - アシスト-Yを押して数値を小さくすると、速度の表示数値が小さくなります。



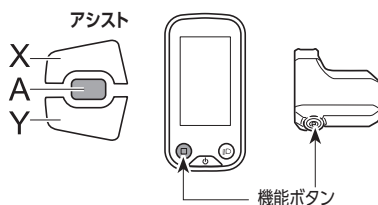
< SC-E6100 >



< SC-E7000 >



3. アシスト-Aまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。
 - * ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。



■ [Exit] 設定メニュー画面の終了

基本画面に戻ります。

1. 設定メニューを表示します。
2. アシスト-Xまたはアシスト-Yを押して[Exit]を選択し、アシスト-Aまたは機能ボタンを押します。
 - * ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。

設定モード(EW-EN100)

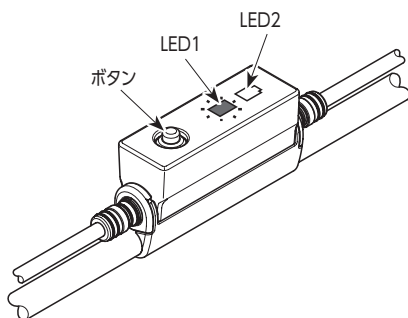
自転車の走行中は、設定モードに切替えることができません。

■ RDプロテクションリセット

転倒などからシステムを保護するため、リアディレイラーに強い衝撃を受けると、RDプロテクション機能が働きます。モーターとリンク部の接続が一時的に解除され、リアディレイラーが正しく動作しなくなります。

RDプロテクションリセットを実行すると、モーターとリンク部の接続が回復し、リアディレイラーがRDプロテクションから復旧します。

1. LED1が赤く点滅するまで約8秒ボタンを長押しします。
LEDの点滅を確認してから指を離してください。LED1のみが赤く点滅している間はシステムがRDプロテクションリセットモードになっています。



2. クランクアームを回します。
リアディレイラーが動き、モーターとリンク部の接続が回復します。

■ アジャスト

電動変速の場合、変速調整が可能です。

ディレイラーの調整が必要な場合は、販売店にご相談ください。

端末との接続通信

自転車を手元(PC/タブレット)に接続することで、システムの設定やファームウェアのアップデートなどをおこなうことができます。

SHIMANO STEPSの設定やファームウェアアップデートをおこなうには、E-TUBE PROJECTが必要です。

サポートサイト(<https://e-tubeproject.shimano.com>)にアクセスし、E-TUBE PROJECTをダウンロードしてください。

E-TUBE PROJECTのインストール方法はサポートサイトをご確認ください。

- SHIMANO STEPSをPCと接続するには、SM-PCE1/SM-PCE02が必要です。また、以下の場合にはSM-JC40/JC41が必要になります。
 - 電動変速を採用している場合など、サイクルコンピューターのE-TUBEポートに空きが無い場合
 - スイッチユニット単体をPCに接続する場合
- ファームウェアは予告なく変更される場合があります。
- バッテリー充電中はPCとの接続通信はできません。充電中は機器に接続しないでください。

■ ワイヤレス機能について

機能

E-TUBE PROJECTを使用してソフトウェアを更新することにより、最新の機能を確認することができます。詳細については、販売店にご相談ください。

ANT接続

ワイヤレスユニットは、サイクルコンピューターの基本画面に表示される情報をすべて外部機器に送信することができます。

Bluetooth® LE接続

ワイヤレスユニットは、サイクルコンピューターの基本画面に表示される情報をすべて外部機器に送信することができます。

Bluetooth LEでスマートフォン、またはタブレット端末と接続する事で、スマートフォン・タブレット端末向けE-TUBE PROJECTが使用できます。また、E-TUBE RIDEを使用することで、EW-EN100を使用している場合もBluetooth LEで接続したスマートフォンから走行情報を確認することができます。

接続方法

ワイヤレス接続をおこなうには、SC-E6100、SC-E7000、EW-EN100に接続しようとする外部機器を接続モードに切替える必要があります。外部機器を接続モードに切替える方法については、外部機器のユーザーマニュアルを参照してください。

2.4 GHzデジタルワイヤレスシステム

周波数2.4 GHzのデジタルワイヤレステクノロジーは、ワイヤレスLANと同じものです。ごくまれに、下記のような場所や機器によって強力な電磁波や電磁干渉で通信に影響を受ける場合があります。

- テレビ、PC、ラジオ、モーター/エンジン、または自動車内や電車内
- 鉄道の踏切や線路、テレビの放送基地やレーダー基地の近所
- 他のワイヤレスコンピューターやデジタル制御ライト

ワイヤレスシステム仕様

モデル名	SC-E6100	SC-E7000	EW-EN100
周波数帯	2,402 ~ 2,480 MHz	2,402 ~ 2,480 MHz	2,402 ~ 2,480 MHz
最大高周波出力	+4 dBm	+4 dBm	+4 dBm
ファームウェアバージョン	4.0.0	4.0.0	4.0.0

トラブルシューティング

■ バッテリーLEDのエラー表示

状況が改善されない場合は、販売店にご相談ください。

エラー表示種別	表示条件	点灯 パターン*1	復帰方法
システム異常	自転車システムとの通信異常		エレクトリックワイヤーが抜けていないか、適切に接続されているかを確認してください。
温度保護	温度が動作保証範囲を超えた場合、バッテリーの出力を停止します。		直射日光を避けた涼しい場所で、バッテリー内部の温度が十分下がるまで放置してください。
セキュリティ認証エラー	• 正規のドライブユニットが接続されていない場合 • ケーブルが一部断線している場合		正規のバッテリーとドライブユニットを接続してください。エレクトリックワイヤーの状態を確認してください。
充電エラー	充電中に異常があった場合		バッテリーと充電器の接続コネクターを取外し、バッテリー単体で、電源スイッチを押してください。バッテリー単体でもエラーが表示された場合は、販売店にご相談ください。
バッテリー故障	バッテリー内部の電気異常		バッテリーの電源ボタンを押して一度電源をOFFにします。その後、再度電源をONにしてください。

*1 ●:消灯 ○:点灯 ☼:点滅

■ サイクルコンピューターのエラーメッセージ

警告

状況が解消すると、この表示は消えます。状況が回復しない場合は、購入された販売店へご相談ください。

< SC-E6100 >

< SC-E7000 >



コード	表示条件	表示中の動作制限	対処
W011	走行速度が検出できていません。	アシスト上限速度が通常より低下します。	以下の可能性がありますので、購入された販売店または代理店へご相談ください。 • スピードセンサーの取付位置が誤っている • ディスクブレーキローター付属のマグネットが外れている

コード	表示条件	表示中の動作制限	対処
W013	トルクセンサーの初期化が正常に完了しませんでした。	アシスト力が通常より低下します。	バッテリーの電源ボタンを押して一度電源をOFFにします。その後ペダルに足を載せずに再度電源をONにしてください。
W020	温度が動作保証範囲を超えた場合、バッテリーの出力を停止します。	全てのシステム機能が起動しません。	放電可能温度を上回っている場合は、直射日光を避けた涼しい場所で、バッテリー内部温度が十分下がるまで放置してください。放電可能温度を下回っている場合は、室内等で内部温度が適温になるまで放置してください。
W032	システムの設定と異なる変速機が取付けられています。	変速できません。	購入された販売店または代理店へご相談ください。

画面全体にエラー表示が出た場合、下記のいずれかの方法で表示をリセットしてください。

- バッテリーの電源ボタンを押して電源をOFFにする。
- バッテリーをバッテリーホルダーから取外す。

使用上の注意

再度電源をONにしても状況が回復しない場合は、購入された販売店にご相談ください

< SC-E6100 >



< SC-E7000 >



コード	表示条件	表示中の動作制限	対処
E010	システム異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	バッテリーの電源ボタンを押して一度電源をOFFにします。その後、再度電源をONにしてください。
E013	ドライブユニットのファームウェアに異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	購入された販売店または代理店にご相談ください。
E014	スピードセンサーの取付位置が誤っている可能性があります。	アシスト走行ができません。	購入された販売店または代理店にご相談ください。
E020	バッテリーとドライブユニット間の通信異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	購入された販売店または代理店にご相談ください。
E021	ドライブユニットに接続されているバッテリーはシステム標準に準拠していますが非対応製品です。	アシスト走行ができません。	バッテリーの電源ボタンを押して一度電源をOFFにします。その後、再度電源をONにしてください。
E022	ドライブユニットに接続されているバッテリーがシステム標準に準拠していません。	全てのシステム機能が起動しません。	バッテリーの電源ボタンを押して一度電源をOFFにします。その後、再度電源をONにしてください。
E023	バッテリー内部の電気異常	全てのシステム機能が起動しません。	バッテリーの電源ボタンを押して一度電源をOFFにします。その後、再度電源をONにしてください。
E024	自転車システムとの通信異常	全てのシステム機能が起動しません。	ケーブルが抜けていないか、配線が間違っていないかを確認してください。
E025	正規のドライブユニットが接続されていない場合に表示されます。ケーブルが一部断線している場合に表示されます。	全てのシステム機能が起動しません。	正規のバッテリーとドライブユニットを接続させてください。ケーブルの状態を確認してください。
E030	システムの設定と異なる変速機が取り付けられています。	アシスト走行ができません。	購入された販売店または代理店へご相談ください。

コード	表示条件	表示中の動作制限	対処
E033	現在のファームウェアは本システムに対応していません。	アシスト走行ができません。	購入された販売店または代理店にご相談ください。
E043	サイクルコンピューターのファームウェアの一部が壊れている可能性があります。	アシスト走行ができません。	購入された販売店または代理店にご相談ください。

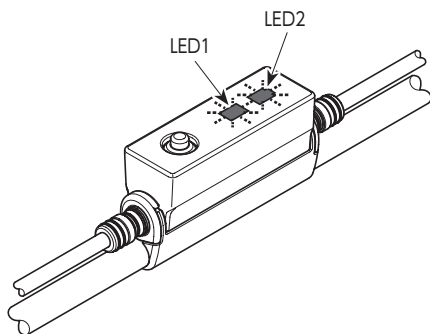
■ EW-EN100のエラー表示

エラーが発生したとき、EW-EN100の2つのLEDが同時に赤色で速く点滅します。

この状態になったら、下記のいずれかの方法で表示をリセットしてください。

- バッテリーの電源スイッチを押して電源をOFFにする。
- バッテリーをホルダーから外す。

再度電源をONにしても状況が回復しない場合は、購入された販売店または代理店にご相談ください。



■ 困ったときは

アシスト機能

症状	原因/可能性	対策
アシストされない。	バッテリー残量は十分ですか？	バッテリー残量を確認し、残量が少ない場合、充電してください。
	夏場の長い坂道や重い荷物を積載して長時間走行していませんか？ オーバーヒートの可能性があります。	電源をOFFにし、しばらく経ってからもう一度確認してください。
	ドライブユニット(DU-E6180)、サイクルコンピューター(SC-E6100)、ジャンクション(A)(EW-EN100)、アシストスイッチ(SW-E6010 / SW-E7000)のいずれかの接続が正しくない、あるいは故障している可能性があります。	購入された販売店にご相談ください。
	スピードを出しすぎていませんか？	サイクルコンピューターの表示を確認してください。24 km/h以上ではアシストされません。
	ペダルをこいでいますか？	オートパイではありませんので、ペダルをこいでください。
アシスト走行距離が短い。	アシストモードが[OFF]になっていませんか？	アシストモードを[HIGH]にしてください。それでもアシスト感がない場合、購入された販売店にご相談ください。
	システムの電源はONになっていますか？	以下のことを実行してもアシスト感がない場合は、購入された販売店にご相談ください。 サイクルコンピューターの電源ボタンまたはバッテリーの電源ボタンを押し電源をONにしてください。
	道路条件やギア段数、ライトの点灯時間により走行距離が短くなります。	バッテリー残量を確認し、残量が少ない場合、充電してください。
ペダルが重い。	冬期はバッテリーの特性上性能が低下します。	異常ではありません。
	バッテリーは消耗品です。繰り返しの充電や長時間の使用でバッテリーは劣化(性能低下)します。	1回の充電で走行できる距離が著しく短い場合は新しいバッテリーに交換してください。
	タイヤの空気圧は十分ですか？	空気入れで空気を入れてください。
	アシストモードが[OFF]になっていませんか？	アシストモードを[HIGH]にしてください。それでもアシスト感がない場合、購入された販売店にご相談ください。
	バッテリー残量が少ない可能性があります。	十分に充電した後に再度アシスト力を確認してください。それでもアシスト感がない場合、購入された販売店にご相談ください。
	ペダルに足を載せた状態で電源をONにしましたか？	ペダルに負荷をかけずに電源を入れ直してください。それでもアシスト感がない場合、購入された販売店にご相談ください。

バッテリー

症状	原因/考えられる原因	対処法
バッテリー残量表示が5つすべて点灯したままになっている。	ドライブユニットのファームウェアバージョンが最新でない可能性があります。	購入された販売店にご相談の上、ファームウェアのバージョンを確認してください。
バッテリー残量がすぐになくなる。	バッテリーの寿命の可能性があります。	バッテリーを新しいものに交換してください。
充電できない。	充電器の電源プラグは確実に接続されていますか？	充電器の電源プラグを抜き差ししてから、再度充電してください。 それでも充電できない場合は購入された販売店にご相談ください。
	充電器の充電プラグはバッテリーに確実に差し込まれていますか？	充電器の電源プラグを抜き差ししてから、再度充電してください。 それでも充電できない場合は購入された販売店にご相談ください。
	充電アダプターと充電プラグまたは充電アダプターとバッテリーの充電器コネクタが確実に接続されていますか？	充電アダプターと充電プラグまたは充電アダプターとバッテリーの充電コネクタを確実に接続し、再度充電してください。それでも充電できない場合は購入された販売店にご相談ください。
	充電器、充電アダプター、バッテリーそれぞれの接続端子が汚れていませんか？	接続端子を乾拭きし、汚れを落としてから再度充電してください。それでも充電できない場合は購入された販売店にご相談ください。
充電器を接続しても充電中の状態にならない。	バッテリーの寿命の可能性があります。	バッテリーを新しいものに交換してください。
バッテリーや充電器が熱くなる。	バッテリーや充電器の温度が、使用温度範囲を超えている可能性があります。	充電を中止し、しばらく経ってからもう一度充電してください。手が触れられないほど熱い場合は異常です。購入された販売店にご相談ください。
充電器が熱い。	連続で数個のバッテリーを充電すると充電器は熱くなる場合があります。	しばらく待ってから充電してください。
充電器のLEDが点灯しない。	充電器の充電プラグはバッテリーにしっかりと差し込まれていますか？	接続部に異物が付着していないかを確認して、充電コネクタを差し込みなおしてください。変化がない場合、購入された販売店にご相談ください。
	バッテリーが満充電ではないですか？	バッテリーが満充電された場合、充電器のLEDは消灯しますが異常ではありません。充電器の電源プラグを抜き差ししてから、再度充電してください。それでも充電器のLEDが点灯しない場合は、購入された販売店にご相談ください。
バッテリーの取外しができない。		購入された販売店にご相談ください。
バッテリーの取付けができない。		購入された販売店にご相談ください。
バッテリーから液が出ている。		購入された販売店にご相談ください。
異臭がする。		ただちに使用を中止し、購入された販売店にご相談ください。

症状	原因/考えられる原因	対処法
煙が出た。		ただちに使用を中止し、購入された販売店にご相談ください。
交換したバッテリーが動作しない。	ドライブユニットのファームウェアがそのバッテリーに対応していない可能性があります。	対応製品かどうかを購入された販売店にお問い合わせください。

ライト

症状	原因/考えられる原因	対処法
フロントライトまたはテールライトがスイッチを押しても点灯しない。	E-TUBE PROJECTの設定が正しくない可能性があります。	購入された販売店にご相談ください。

サイクルコンピューター

症状	原因/考えられる原因	対処法
バッテリーの電源ボタンを押しても、サイクルコンピューターの画面が点灯しない。	バッテリー残量が不足している可能性があります。	バッテリーを充電してから、再度電源をONにしてください。
	電源はONになっていますか？	電源ボタンを長押しし、電源をONにしてください。
	充電中ではありませんか？	自転車にバッテリーを取付けた状態で充電中は、電源をONにできません。充電を中止してください。
	< SC-E6100 > サイクルコンピューターはブラケットに正しく取付けられていますか？	「サイクルコンピューターの取付けと取外し」をご参照の上、正しく取付けてください。
	エレクトリックワイヤーのコネクターは正しく取付けられていますか？	モーターユニットとドライブユニットを接続するエレクトリックワイヤーのコネクターが抜けていないか確認してください。はっきりしない場合は、購入された販売店にご相談ください。
	システムが認識できない製品を接続している可能性があります。	購入された販売店にご相談ください。
< SC-E6100 > サイクルコンピューターの電源ボタンを押しても起動しない。	低温下でサイクルコンピューターを使用または放置し続けていませんか？	低温下でサイクルコンピューターを使用または放置し続けるとサイクルコンピューター側から電源をONにできない場合があります。バッテリーの電源ボタンを押して起動させてください。それでも電源がONにならない場合は販売点へご相談ください。
	サイクルコンピューターはブラケットに正しく取付けられていますか？	「サイクルコンピューターの取付けと取外し」をご参照の上、正しく取付けてください。
ギア段数が表示されない。	ギア段数は電動変速ユニットが取付けられている場合のみ表示されます。	エレクトリックワイヤーのコネクターが抜けていないか確認してください。はっきりしない場合は、購入された販売店にご相談ください。
ビーブ音を消したい。		設定を変更してください。 [「Beep」 ビーブ音設定]参照。

症状	原因/考えられる原因	対処法
< SC-E6100 > バックライトを消したい。		設定を変更してください。 「[Backlight] バックライト設定 (SC-E6100)」参照。
走行中に設定メニューが起動できない。	走行状態を認識すると設定メニューが起動できない仕様です。異常ではありません。	停車して設定をおこなってください。

その他

症状	原因/考えられる原因	対処法
スイッチを押したときに「ピッピッ」と音が2回鳴りスイッチの操作ができない。	押したスイッチの操作は禁止されています。	故障ではありません。
音が「ピッピッピッ」と3回鳴る。	エラーまたは警告が発生しています。	サイクルコンピューターに警告またはエラーが表示されています。「サイクルコンピューターのエラーメッセージ」の項を参照して、該当コードの記載に従ってください。
電動変速使用時、変速の際にアシスト力が弱くなる気がする。	コンピューター制御により、アシスト力を最適な状態に調整しているためです。	故障ではありません。
変速後に異音ができる。		購入された販売店にご相談ください。
通常の走行時に後輪から音鳴りがする。	変速調整が正しく行われていない可能性があります。	機械式変速の場合 ケーブルの張りを調整してください。詳しくは変速機の取扱説明書をご覧ください。 電動変速の場合 購入された販売店にご相談ください。
停車時にスタートモードで設定したギア段数に変速しない。	ペダルを強く踏みすぎた可能性があります。	ペダルを軽く踏むと、より容易に変速されます。

*** キーナンバー**

スペアキーを購入するには、鍵に添付されている番号(キーナンバー)が必要です。

下記の欄にご記入いただき、大切に保管してください。

キーナンバー



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地